

「変化＝進歩」

～2学期のマインドセット～

2024・8・26 校長 重枝一郎

昔から、「可愛い子には旅をさせよ」という言葉があるように、知らない場所に行ったり、知らない人と会ったりすることは、成長の機会や学びの宝庫であると言われていきます。だから、学校・学年行事において、修学旅行やフィールドワークが依然と存在します。このことは間違いないと思うのですが、今は、インターネットで世界中どこにでもアクセスできます。

私が思うのは、日常の中で、「自分の立ち位置を変える」ことも、ちょっとした「旅」と捉えてもいいということです。その「旅」も、海外に行くのと同じくらいに価値があります。大いに、自己理解や自己発見の可能性はあります。

この「自分の立ち位置を変える」という「旅」は、行き先や目的は関係ありません。一人でもみんなとでもいい。自分が今向いている体の向きを変えるだけで、景色が変わり、思わぬ自分の内側に気付くことがあります。それは、学校とは限らず、自宅でも、通学路でも、また、その気付きを得るのは、今じゃなく、何年後のふとした瞬間かもしれません。点と点がつながるように、いつの日か自分でも知らなかった、新しい自分の一部をつくります。

私たちは、自分が今立っている位置と向きがあると思います。何もしないで、そのままの位置だと、そこから見えるものは何も変わりません。一步踏み出すことで、ちょっと体の向きを変えることで、立ち位置が変わり、今まで見えなかったものが見えるようになります。もっと言うと、行動することでマイナスに思えた状況の中にプラスの要素を見つけられることもあります。これが「失敗」＝「財産」です。

この「立ち位置を変える」という意識は「変化」のことで、まずは、「できない」「めんどろ」「難しい」と言いたくなる気持ちをおさえて、自分の立ち位置を変えてみる。そうすると、見えなかったものが見えたり、できない理由を考えるより、できる方法を考えたりするようになります。これが「変化」＝「進歩」です。

これから2学期。みなさんは、どう立ち位置を変えて、見える景色を変えますか？
例えば、勉強のやり方を変える、勉強の量を変える、部活の練習メニューを変える、何でもいい。立ち位置を変えて、何が見えるようになったかをいつも意識することが大切です。いつも言っていることですが、そこで掴んだものはなさないようにしてください。

さあ2学期。多様な経験が、みなさんの先の人生の見える景色を変えていきます。自分の中の「絶景」に出会ってほしいと思います。

私が、年度初めに言った、「成長はたし算」にもつながる話です。

「2学期は、何をたし算する？」

そして、終わる時に、「あなたは何をたし算しましたか？」